

## ダイケン 断熱吸音ウール

## 「施工業者様へのお願い」

ダイケン断熱吸音ウールを長期間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくため施工前に必ず本施工説明書をお読みいただき、適正な施工を行ってください。  
※本施工説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/pro/download/manual/> よりダウンロードも可能です。



## 警告表示の種類と内容

	<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または 家屋・家財などの損害に結びつく内容		してはいけない 内容です	●本製品は吸音性能を併せ持つ断熱材です。屋外には使用できません。
--	-----------	-------------------------------------	--	-----------------	----------------------------------

## 注意 【施工上の注意】

- 製品を切断する場合は、以下に記載の「■カット方法」で行ってください。R（ロール）タイプ、B（ボード）タイプにより、切断方法が異なります。
- 施工によって断熱性能を十分発揮できなかったり、壁体内での結露を生じる恐れがあります。施工説明書の内容に従い、適正な施工をおこなってください。
- 断熱吸音ウールは袋入製品ではありません。壁外部の構造が合板等を使用し、壁内部の湿気を排出しにくい場合は、防湿シート（ポリエチレンフィルム0.1～0.2mm）を室内側にすき間なく施工して室内の湿気が壁内部に侵入するのを防止してください。
- R（ロール）タイプは圧縮梱包されています。開梱し徐々に厚みが戻ってきます。所定の厚みに戻るまで数日必要です。圧縮された状態で施工しても断熱性能に影響はありません。

## 注意 【保管上の注意】

- 本製品自体に吸湿性はありませんが、保管をする場合は直置きはせず、パレット等に置いてください。
- ポリエチレン梱包に傷がある場合はテープ等で補修し、シートをかぶせて濡れないようにしてください。

- 製品を破棄する際は、法律および自治体の規則に基いて適切に処理してください。
- 再生材を使用しているため色味にバラつきが生じる場合がありますが、品質、性能に影響はありません。

## ■製品仕様

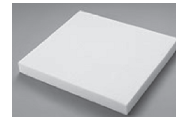
## 断熱吸音ウールR（ロール）タイプ ※壁・天井用

- ・材質：ポリエステル繊維
- ・密度：13K
- ・サイズ：厚106mm×幅430mm×長さ10.9m/巻
- ・梱包・入数：ポリエチレン袋 3巻入り（圧縮梱包）
- ・熱伝導率：0.039W/mK
- ・ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品



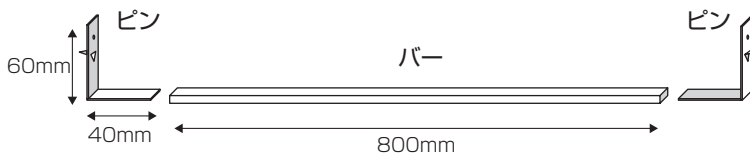
## 断熱吸音ウールB（ボード）タイプ ※床用

- ・材質：ポリエステル繊維
- ・密度：20K
- ・サイズ：厚90mm×幅820mm×長さ910mm/枚
- ・梱包・入数：ポリエチレン袋 6枚入り
- ・熱伝導率：0.038W/mK
- ・ホルムアルデヒド規制：告示対象外製品



## 施工部材 断熱吸音ウールB 受け金具 ※床用

- ・材質：鋼板
- ・サイズ：ピン 厚0.8mm鋼板、バー 厚0.5mm鋼板  
※詳細は右図参照
- ・梱包・入数：段ボール入り50セット（ピン100個、バー 50本）  
約6坪分
- ・ホルムアルデヒド規制：規制対象外部位



## 施工説明書

## ■必要工具

施工の際は以下の工具をご用意ください。

タイプ	規格他	使用箇所
R（ロール）タイプ	ロータリーカッター（オルファ社推奨） 大型裁ちばさみ	幅・長さのカット ※長さの調整（カット）は手でもカットが可能です。
B（ボード）タイプ	電動丸のこ ※丸のこの刃を裏返してカットします。	幅・長さのカット
Bタイプ受け金具	釘またはビス（φ3mm以下） ※現場手配してください。	ピンの固定（1梱（約6坪）で100本使用）

## 施工方法

### ■カット方法

#### ロールタイプ

ロールタイプの幅・長さ調整はオルファ社製のロータリーカッターもしくは大型裁ちバサミをご使用下さい。  
また長さ調整については、手で簡単に裂くことも可能です。



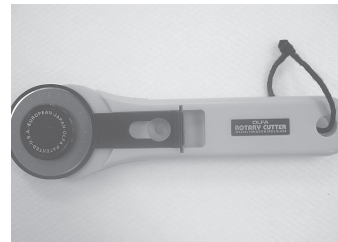
ロータリーカッターで幅調整可能。



ハサミでも幅調整可能です。



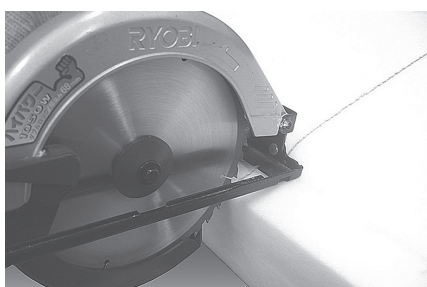
長さ調整は手でも可能です。  
耳部分は、刃物でカットして下さい。



オルファ社のロータリーカッター

#### ボードタイプ

電動丸ノコの刃を裏返して装着しカットして下さい。



厚いボードタイプは、**電動丸ノコの刃を裏返して装着し**カットします。  
繊維がからむ事無くカットできます。

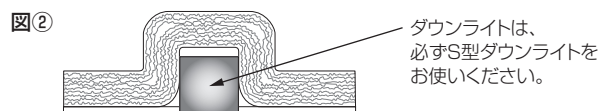
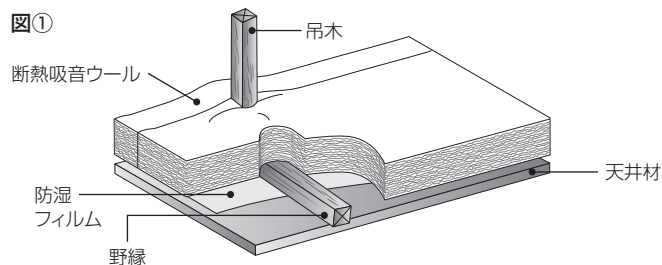
### ⚠ 注意

刃は**必ず裏返して**カットしてください。  
裏返さずカットすると繊維が丸のこに絡みつきケガをする恐れがあります。  
本製品をカット後は刃を元に戻してください。

### ■天井施工 (R (ロール) タイプ)

**天井断熱の場合、野縁の上に断熱吸音ウールを隙間なく敷き込み野縁に市販の防湿フィルムを施工します。**

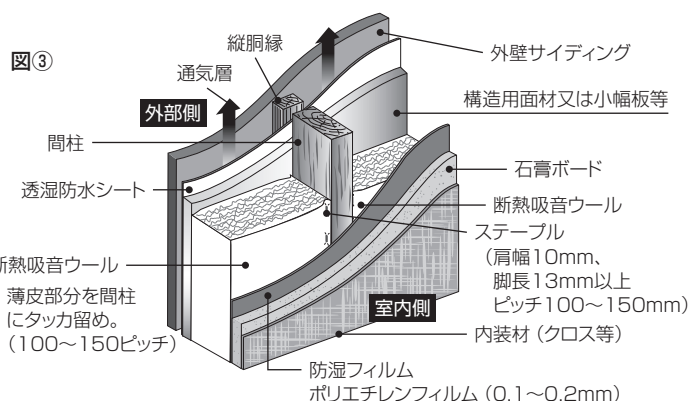
- ・野縁の上に断熱吸音ウールを隙間なく敷き込み、野縁に市販の防湿フィルムを施工します。(図①参照)
- ・吊木等の部分は断熱吸音ウールを切り欠き、敷き込みます。このとき、吊木と断熱吸音ウールに隙間が生じないようにご注意ください。
- ・ダウンライトをご使用の場合は、断熱材でおおうことができるS型ダウンライト(断熱型器具)を必ずお使いください。(図②参照)



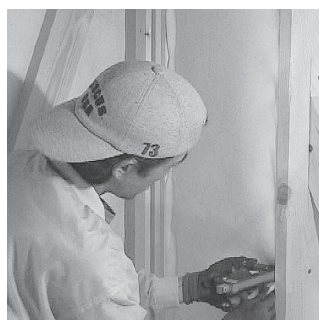
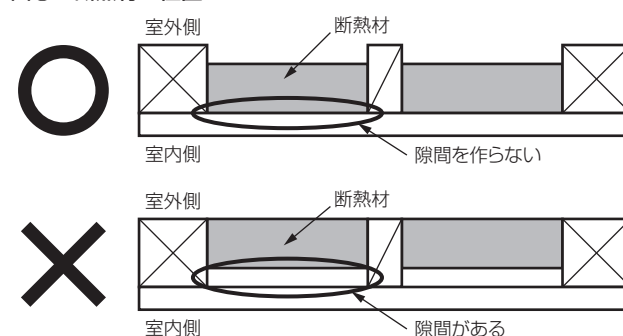
ダウンライトは、必ずS型ダウンライトをお使いください。

### ■壁施工 (R (ロール) タイプ)

- ・柱、間柱に断熱吸音ウールを充てんします。(図③参照)  
長さ方向をあらかじめカットします。幅方向は柱間柱が455mmピッチであればカット不要です。
- ・片面を熱で薄皮状にしてあり、その部分を室内側にして、皮部分をつまんでステープル留めします。(図④参照)  
※ステープルは肩幅10mm×脚長13mm以上をお使いください。  
ステープルのピッチは100~150mm程度で柱・間柱と隙間が生じないように留めつけてください。
- ・上枠と間柱側面のできるだけ手前(室内) 側内装材との間に隙間を作らないでください。(図⑤参照)
- ・幅は折り込んで調整し、ピンと張った状態で施工してください。



図⑤ 断熱材の位置



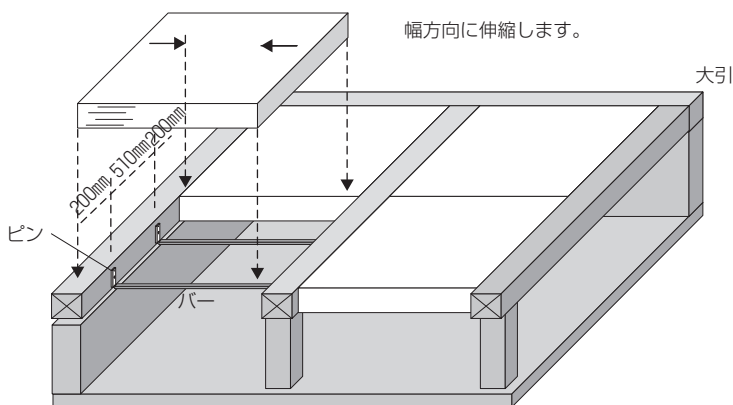
図④

## ■床施工（B（ボード）タイプ）

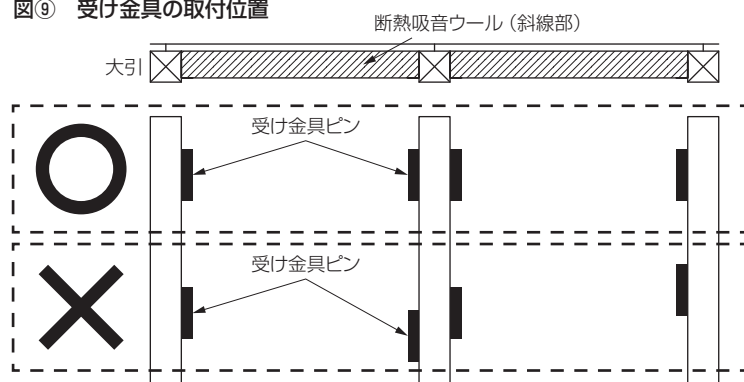
※根太工法は施工できません。他の断熱材をご使用ください。

- ・大引から断熱吸音ウールが脱落しないように、受け金具を大引に取り付けます。（図⑥参照）
- 断熱吸音ウールの両端部（910mm方向）から200mmの場所にピンを固定します。ハンマー等でピンのツメ部分を大引きに打ちつけ仮固定します。（図⑦参照）
- ピンの取付高さについては断熱材の厚み（90mm）が大引き上の合板等と隙間が生じないように大引天面から下30mmに受け金具の先端が来るように設定します。（図⑧参照）
- その後、釘またはビス（現場準備）で本固定します。
- ・両サイドのピンはずれないように固定してください。ずれが大きいとバーの取り付けができません。（図⑨参照）
- ・両サイドのピンにバーを上から載せます。（図⑩参照）
- ・受け金具の取付が出来たら、断熱吸音ウールを上から押し込みます。幅方向は伸縮します。納まり部分等長さ方向のみ必要寸法でカットしてください。

図⑦ 断熱吸音ウール

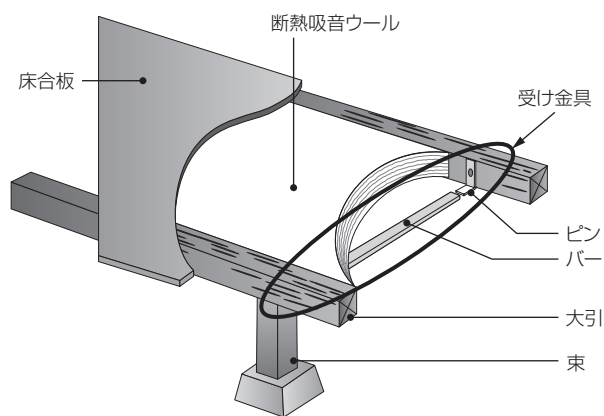


図⑨ 受け金具の取付位置

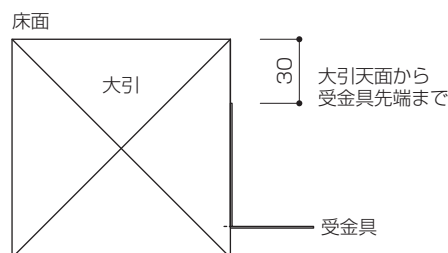


受け金具ピンの位置に注意してください。  
取付位置がずれが大きいとバーの取付が出来ません。

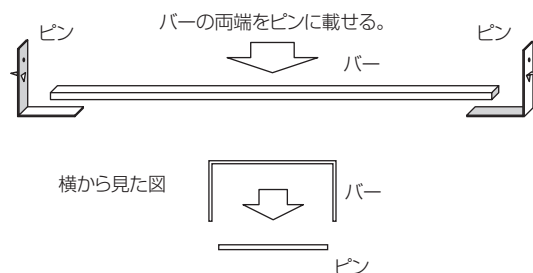
図⑥



図⑧ 受け金具の取付位置（断面）



図⑩ ピンとバーの取付



### ロットNo記載

製品に同梱している製品ラベルにロットNoを記載しています。



ロットNo記載例  
**250621001**  
(2025年6月21日製造の例)

製品の仕様や施工方法に関するお問い合わせは

お客様センター | 受付時間：平日 9:00～17:00

**0120-787-505**

(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。)

防音・音響仕様に関するお問い合わせは

サウンドセンター | 受付時間：平日 10:00～17:00

東京 TEL(03)6271-7785  
大阪 TEL(06)6205-7245

(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。)

### ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。  
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



大建工業株式会社

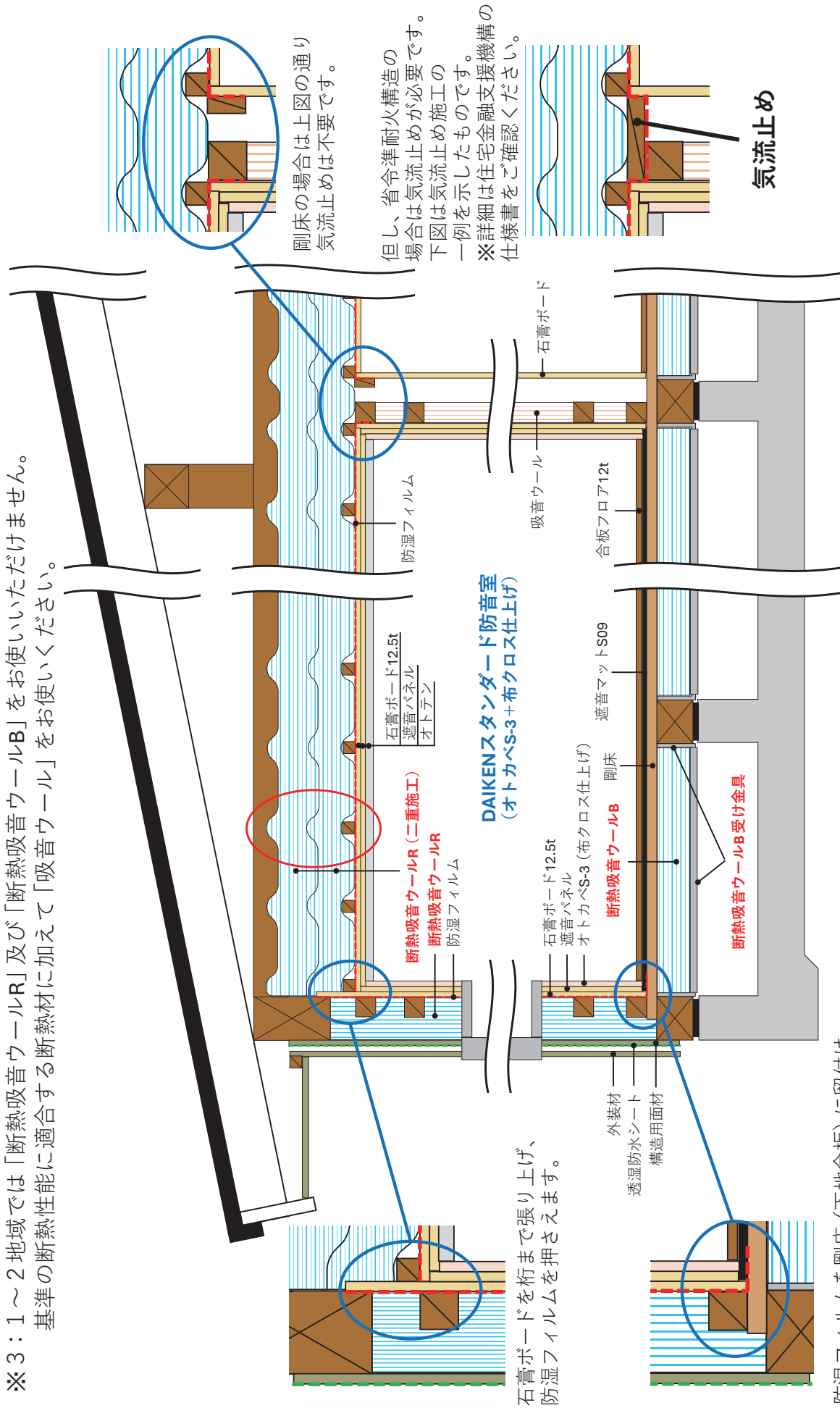
2025年9月26日から  
「DAIKEN株式会社」に改称します。

DAIKEN のホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

250623-ON-SB001

## 断熱等性能等級 5（誘導基準）に適合する木造戸建住宅の断熱材構成例

- ※ 1：床断熱＆天井断熱が必要、かつ 4～7 地域の例を示しております。
- ※ 2：3 地域では壁＆天井断熱に下図と同じ要領で「断熱吸音ウールR」をお使いいただけますが、床断熱には「断熱吸音ウールB」をお使いいただけません。
- ※ 3：1～2 地域では「断熱吸音ウールR」及び「断熱吸音ウールB」をお使いいただけません。基準の断熱性能に適合する断熱材に加えて「吸音ウール」をお使いください。



防湿フィルムを剛床（下地合板）に留付け、遮音マットS09で押さえ付けます。